

前半先制、反撃、緊張



VONDS市原 前半23分、ゴールを決めるVONDS市原・沼

=フクダ電子アリーナ

V市原運動量で勝る

2年ぶりの天皇杯出場を知り、順大との激戦を制した。NDS市原アリーナの歓喜の声。今後の自信につながる声が夏の夜空に響く。「日が暮る」と主将の北原義宏は胸を張った。

フクダ電子

が長かったが、激しいプレスを掛け、後半は5人を入れ替えたながら1点を守り切った。天皇杯に挑む。昨秋の台風15号では練習場に雪が降った西元市原の想いを背負い、天皇杯に挑む。昨秋の台風15号では練習場に雪が降った西元市原、勝っているな」というユースを少しでも届けたい」と意気込んだ。

サッカー
県選手権
第100回天皇杯全日本
本選手権の千葉県代表を
決める第25回県サッカ
選手権(県サッカ協会主
催、千葉日報社など共催)
は26日、フクダ電子アリーナで決勝を行った。VOND
S市原が順大を1-0で下し、2年ぶり3度目の優勝を果たした。VOND
S市原は前半23分に西袋のロングボーリーで決勝を決めた。VOND
S市原は前半23分に西袋のロングボーリーで決勝を決めた。

は26日、フクダ電子アリーナで決勝を行った。VOND
S市原が順大を1-0で下し、2年ぶり3度目の優勝を果たした。VOND
S市原は前半23分に西袋のロングボーリーで決勝を決めた。VOND
S市原は前半23分に西袋のロングボーリーで決勝を決めた。

試合終了同時に膝に



後半、競り合つ順大・三国左

▽決勝 VONDS市原 1 (0-0) 0 順大

▽得点者
[W]沼

【評】VONDS市原が逃げ切った。前半23分、西袋のロングボールに反応した沼がゴール前から右足で先制点。後半は5選手を入れ替えたが、順大は後半、決定中出場の三国を軸に攻めたが、決機で決め切れず。

順大好機に決め切れず
手を突き、悔しそうにじが、ワンチャンスをものませた順大アリーナにできなかつた」と三国ユートを放しながら決め切れず、一瞬の隙から決ええた先制点で逃げ切られた。序盤から両サイドを起しに攻め立てたが、引いて守る相手の牙城を崩せなかつた。少しづつアドバイスを受けたが、及ばなかつた。関東大学リーグでは雪が、次に向けて元気よく切り替えていた。三国は「本大会で長い経験をしたかったが、新たにDFの裏を縦パ



VONDS市原 前半23分、ゴールを決めて喜ぶVONDS市原・沼(左)=26日、フクダ電子アリーナ

8月27日(木)

千葉日報

郵便番号 260-0013
千葉市中央区中央4丁目4番10
電話 043(222)9211
©2020